

2023 年度 当社取締役会の実効性評価結果の概要について

1. 取締役会の実効性評価の実施

当社は、「三菱ケミカルグループ・コーポレートガバナンス基本方針」において、取締役会は毎年その実効性を評価し、結果の概要を開示すると定めています。2023 年度の実効性評価の方法及び結果の概要は、以下のとおりです。

2. 評価方法・プロセス

2023 年度における、取締役会の実効性評価の具体的な評価方法・プロセスは以下のとおりです。

(1) 評価方法

- 当社は、上記「基本方針」に則り、評価手法の専門性及び評価プロセスの客観性を担保するため第三者機関による評価を定期的実施していますが、近年の評価において確認された諸課題に集中して取り組むため、2023 年度は、第三者機関を介さずにこれらの課題の改善状況を中心に取締役会自らが評価することとしました。

(2) 評価プロセス

- 現状の課題と対応の方向性について、再任取締役及び執行役社長に対し、以下の項目からなる記述式アンケートを実施しました。（2024 年 6 月）
 - 経営戦略に関する審議の在り方、業務執行状況のモニタリングについて
 - 独立社外取締役及び執行側経営陣の役割について
 - 取締役会の運営及び議題設定、各委員会との連携について 等
- アンケートの回答結果を踏まえて、取締役会において新任取締役とともに課題を共有し実効性向上に向けた取り組み等について議論しました。（2024 年 7 月）
- 取締役会議長が、現状の課題及び対応の方向性について、取締役会における議論も踏まえ取締役会に報告しました。（2024 年 8 月/ 9 月）

3. 現状の課題及び対応の方向性について

現状の課題及び対応の方向性について以下のとおり認識しました。改善に向けた具体的な手法及び進捗については、適宜取締役会で確認し、議論のうえ課題解決に取り組めます。

- 経営戦略に関する議論の在り方、業務執行状況のモニタリング手法等について
経営の基本方針に関する議論が十分に尽くされなかったため、結果として個別の戦略等を議論する際の基軸やモニタリングの対象が曖昧となった点、また重要案件の審議において、建設的な意見交換に必要かつ十分な情報が執行側から提供されず議論が深まらなかった点を課題と認識しました。
＜対応の方向性＞

- 経営の基本方針に関する議論の深化及び重要案件における事案に応じた適正かつ明確な審議プロセスの実現
 - モニタリングすべき対象の明確化及び手法の確立
 - 重要案件に関する審議時間を確保するためのアジェンダ設定の工夫
- 独立社外取締役及び執行側経営陣の役割について
- 社外取締役と執行役とのコミュニケーションが一部に限定して実施されるケースがあり取締役メンバーへの情報共有が不十分であった点、また取締役会における社外取締役からの指摘事項への対処・改善に関する報告や議論などが尽くされなかった点を課題と認識しました。
- ＜対応の方向性＞
- 取締役と執行側経営陣とのコミュニケーションの促進・適正化
 - 取締役間における情報共有の促進
- 取締役会の運営及び議題設定、各委員会との連携について
- 議題設定や取締役会への説明責任に関し取締役会と執行役間で理解に齟齬があり議論が噛み合わないケースがあった点、また委員会の運営及び取締役会への報告の在り方に改善の余地がある点を課題と認識しました。
- ＜対応の方向性＞
- 取締役会及び執行側経営陣の役割に対する共通理解の深化
 - 各委員会の取締役会における位置づけの再確認並びに取締役会と各委員会及び委員会間の連携の強化
 - 指名委員会の役割・権限を踏まえた運営（取締役会への適示適切な報告、執行側との十分な協議・情報共有）の実施

4. 前回の実効性評価を受けた取り組み

2022 年度の実効性評価結果及び各取締役からの指摘を踏まえ、以下の取り組みを実施しました。

- モニタリングの強化
- CEO による業務執行状況報告を定例議題とし、中期経営計画の進捗、業績、コンプライアンス及び環境安全の状況等を取締役会へ報告しました。
 - 社外取締役による国内外の事業所及び研究所の視察を実施し、経営幹部、製造・研究に携わる従業員等との対話の機会を設けました。
- 戦略議論の充実
- 2024 年度を取締役会に向けて、重要案件については、社外取締役に対する事前説明を実施する等、取締役会において十分な議論が尽くされるよう運営を改善しました。
 - 年間議題表を策定し重要案件の審議スケジュールを明確にしました。
- 指名委員会の実効性向上
- スキルマトリックスを踏まえ、めざすべき取締役会の構成から求める人材要件を設定し、2024 年

度に向けた議論を実施しました。

当社は、今回の取締役会の実効性評価及び各取締役からの様々な提言を踏まえ、引き続き取締役会の実効性向上に取り組んでいきます。

以 上